

# 東海北陸

Branch Report Vol.61

TOUKAI-HOKURIKU

2014.August



写真提供：岐阜県白川村役場



世界遺産 ひだ白川郷 合掌造り



公益社団法人  
日本建築積算協会・東海北陸支部



支部長あいさつ	本当のおもてなし	支部長 小野 徹郎	1
平成 26 年度	東海北陸支部定時総会報告		2・3
平成 26 年度	事業計画		4・5
平成 25 年度	収支決算書		6
最近の活動状況報告	総務財務委員会	委員長 川辺 清次	7
会員委員会報告	会員委員会	委員長 劔谷 智彦	7
建築積算士補認定校講師交流会	教育委員会	委員長 山田 治	8・9
講習委員会だより	講習委員会	委員長 藤井 正王	10
建築コスト管理士・建築積算士試験案内	資格制度委員会	委員長 林 進	10
設計審査委員会だより	設計審査委員会	委員 平井 隆志	11
データベース委員会だより	データベース委員会	委員長 加藤 一也	11
ホームページ委員会だより	ホームページ委員会	委員 西村 洋司	12
資格者の資質について	ペリカン委員会	委員長 中川 英人	12
講習会のご案内	講習委員会		13
「建築積算の添削講座」のご案内	講習委員会		14
愛知県建設技術研修会	講習委員会	委員 山田 治	15
東京から その 4	支部会員	西田 彰	15
東京から その 5	支部会員	西田 彰	16
積算と出会って	株式会社 二葉積算	名古屋支社 植村 友理	17
就業体験	名古屋市立工芸高等学校	建築システム科 2年 田村 圭祐	17
一人前の積算士へ	株式会社アイピーエス	積算部 齊藤 成貴	18
外装サーモグラフィ(赤外線画像)調査について	中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋(株)	金沢支店 中谷 道和	19
建築のプロセス(とある建物ができるまで)	大日本土木(株)	建築積算 G 加藤 一也	20・21
静岡部会だより	株式会社アイピーエス	積算部 藤曲 充信	22
北陸部会だより	(株)高島建築積算事務所	所長 高島 義昭	23
地域委員会 岐阜だより	代表	生田 孝文	24
	株式会社 大成出版社		25
	TOMO データサービス株式会社		26
	協栄産業株式会社		27
CPD 単位取得について	資格制度委員会		28・29
編集後記			29
	一般財団法人	建設物価調査会	30



## 本当のおもてなし (公社)日本建築積算協会 東海北陸支部

支部長 小野 徹郎

相山女学園大学教授  
名古屋工業大学名誉教授  
工学博士

また蒸し暑い夏に悩まされる時期になってきましたが、会員の皆さんにはお元気にご活躍のことと思います。ブラジルでのFIFA WORLD CUPが開催され、日本からも熱い声援が送られています。ああ！今、日本は1次リーグ敗退が決まってしまいました。スポーツに関するビックイベントとしては東京オリンピックの誘致が決まり建築業界も歓迎の色に染まっています。個人的にはラグビーの世界選手権が我が国で開催されるのが一番の楽しみです(ちなみに日本代表チームは現在国際試合10連勝中)。

こうした世界的なイベントを開催する上では、その開催国や地域、団体は大変な準備と投資が強いられます。サッカー王国のブラジルでは開催の費用を医療、福祉に投入すべきだとして多くのデモ、ストライキが行われ、その円滑な運営を危ぶむ空気も流れていましたがなんとか開催され、順調に進んでいるようです。また東京オリンピックでは国立競技場の建て替えに関して、その巨大さと巨額の建設費用に対して反対の声が上がっています。どのようなところに落ち着くのでしょうか。積算協会も公益法人になってから2年が経過し、来年は国際会議を横浜で開催し、外国から多くのお客様を迎えることとなっています。財政厳しい協会にとってその開催費用はあまり楽なものではないと思います。

さて外国からお客様を迎えるのに必要で最も基本的なことは何でしょうか。東京オリンピック誘致の謳い文句に倣いますとおもてなしの心だとも言われています。開催するための立派な施設でしょうか？ 歓迎の豪華さでしょうか？。私はこの秋、マドリッドでのIABSEとナポリでのEURSTELの会議に出掛けますが、ガイドブッ

クなどによると南スペインや南イタリアでは荷物の置き引き、すり、偽警察官など日本では考えられない犯罪が日常茶飯事になっているようです。数年前エジプトのルクソールで半政府組織の外国人を狙った銃撃戦があり、その後観光客が激減しました。中国での食の問題も然りです。こうして考えてくるとお客様を迎える一番のおもてなしは広い意味での安心、安全ではないでしょうか。我が国でも犯罪はおきますが一般的には世界で最も安全な国と言われています。1年前になります。ナゴヤドームに野球観戦に行ったとき、試合が終わり家に着いてからズボンのポケットに入れた財布がないことに気づき、ドームで落としたりしか考えられなく、さすがに出てこないとは思いながら電話をしたらなんとドームの落とし物係に2万円入った財布が届いており、手元に戻ってきました。日本の素晴らしさに改めて感心しました。この国の安全、安心のすごさです。

グロピウスの言葉に「強、用、美」という言葉があります。建築とは何かを表した言葉ですが、強くなければ用は意味がない。用が満たされなければ美は意味がない。しかし美しくなければ建築ではないという意味です。建築でも最も基本的な性能が安全にあることを伝えていきます。しかもこの安全性はコストと直接関わっています。建築生産プロセスでの管理は人的なチェックによってもたらされ、それは表面には出てこないものです。従ってコスト競争の中ではそうしたところが先に削減され、結果的に建物の安全性を大きく損なうこととなります。このことは社会の安全性も同じです。

本当のおもてなしとは、お客様が何の心配もなく訪れることが出来る安全な国であることです。我々の生活を取り巻くあらゆるものが十分なコスト管理のもとで構築された安全なシステムであるべきです。建築も然りです。安全であることはおもてなしの基本であり、そのためのコスト管理の重要性にまで思いが至ります。



## 平成26年度 東海北陸支部 定時総会報告

1. 日 時 平成26年4月25日（水） 17:00～17:45
2. 会 場 中日パレス  
名古屋市中区栄4-1-1 中日ビル5階
3. 出席者 当日出席者31名 委任状210通 計241名
4. 議事

一、開会の辞～川辺清次副支部長より平成26年度東海北陸支部定時総会の開会の辞。

### 一、支部長挨拶（要旨）



本日は、平成26年度支部総会にご多忙中にも拘わらずご出席いただきありがとうございます。

政権交代後、円安基調の中、日経ダウは高騰しており、大企業では久しぶりの昇給もなされ景気が回復した気分になっておりますが、消費税アップの中、持続的な景気回復に繋がるか幾分難しい面も有ります。私たちの活動は経済活動と無縁ではなく、建物の安全性すらコストと表裏一体です。性能を発揮する為の適正な価格評価が評価される世の中でなければなりません。その適正価格

算出の中心にいるのが我々積算業界なのです。我々は、建築という商品を競争原理の中で、性能を確保した上で、合理的な適正価格を設定し、提示出来る唯一の職能であり、いかなる状況の中でもその責務を果たしていかなければなりません。

積算協会も公益社団法人として新たな出発をして3年目を迎えます。間もなく公益法人に国のチェックが始まるとされています。公益法人にふさわしい活動と体質がより求められます。

東海北陸支部では以下の4つを活動の軸においています。

- 1) 積算関連資格の社会的認知と実質的な活用についての周辺整備
- 2) 非会員資格者の会員化に重点を置いた会員の増強
- 3) 地域に根ざした会員サービスの向上
- 4) 教育機関での建築積算教育の拡大と若手人材の育成

この活動方針に従って積極的に活動し、積算の重要性を社会的に再認識してもらうように、積算協会東海北陸支部として会員一丸となって頑張りたいと思っていますのでご協力、ご支援をお願いいたします。



### 一、来賓ご挨拶

本部より森谷理事にご出席頂き、ご挨拶を頂戴致しました。

### 一、定足数の確認（道家事務局長より）

本日出席会員数31名 有効委任状210名 計241名。





平成26年3月31日現在の正会員数363名。議決に必要な定足数は支部規程第15条第4項の規程により正会員数の過半数、つまり182名以上が成立要件です。従ってこの総会は成立していると報告。

### 一、議長選出

司会者より、支部規定第9条第1項の規定により、小野徹郎支部長を指名。

◇ 議事録署名人の指名

議長より議事録署名人として剛谷将紀氏と山田治氏のお二方を指名。

### 一、議案審議

#### ■ 第1号議案 平成25年度事業報告承認の件

川辺総務財務委員長から平成25年度事業報告の説明があり、審議に入る。

議長からご質問、ご意見のある方の発言を求めた。特に発言がなく、満場の拍手で第1号議案を承認した。

#### ■ 第2号議案 平成25年度収支決算(案)及び監査報告承認の件

道家事務局長から平成25年度収支決算報告(案)の説明があり、審議に入る。

監事として佐野洋治監事から収支はいずれも正確であると報告があった。

議長からご質問、ご意見のある方の発言を求めた。

特に発言がなく、満場の拍手で第2号議案を承認した。

#### ■ 報告事項1 平成26年度事業計画に関する件

川辺総務財務委員長から平成26年度事業計画の説明があった。

#### ■ 報告事項2 平成26年度収支予算に関する件

道家事務局長から平成26年度収支予算(案)の説明があった。

議案審議・報告事項が無事終了し、議長退席。



### 一、閉会の辞～剛谷副支部長よりあり、17時45閉会。



# 平成26年度事業計画

## I. 支部事業活動方針

日本建築積算協会は公益社団法人として船出して1年が経過しました。公益社団法人に求められる役割は、専門家集団としての社会貢献で、我々が職能を通して出来る貢献は、正しい価値評価に基づく建築のコスト管理にあります。コスト管理、積算の重要性を社会により深く浸透させ、建築生産における職能の相対的評価を高める活動、自己研修を通して専門家集団としてのポテンシャルの向上を目指した活動、および大学を始めとする教育の場での積算教育を拡大する活動を軸に支部運営の活動を行います。

- 1) 積算関連資格の社会的認知と実質的な活用についての周辺整備
- 2) 非会員資格者の会員化に重点を置いた会員の増強
- 3) 地域に根ざした会員サービスの向上
- 4) 教育機関での建築積算教育の拡大と若手人材の育成

積算資格の社会的認知を高めることは、積算資格に対する需要を引き起こし、結果的に積算協会の基盤を固めることとなります。その一環として資格者の活用について行政に積極的に働きかけます。CPD登録を中心に電子情報の多角的な運用について会員に広報、支援するとともに、会員の増強に関しては40名増強の具体的目標設定を行い活動します。また会員相互の意見交換の場を拡大して会員サービスに努めます。積算士補資格を基本に教育機関に於ける積算教育の充実と拡大を計ります。活動及び運営に関しては支部会員各位の意見を反映して内容の充実を図っていきます。

## II. 支部委員会活動

### ◇総務・財務委員会

- ①協会に新しい魅力を創出し、会勢拡大に努める。
- ②各委員会との調整を図る。
- ③会計処理の整備、予算管理の推進、事務局業務の効率化とコスト削減を図る。

### ◇会員委員会

- ①会員・賛助会員の増加を図る。
- ②会員サービスの向上を図る。  
情報提供・親睦事業
- ③建築コスト管理士の活躍の場を、協会専任講師として養成を図る。
- ④木造住宅耐震診断の相談窓口開設を検討する。

### ◇広報委員会

- ①会員・賛助会員への情報提供誌として充実した支部報を継続して発行する。
- ②会員交流の場として、会員投稿ページを設ける。
- ③会員以外への広報活動の充実を図る。



## ◇ホームページ委員会

①広く一般の方にも「積算」を知っていただける場を提供する。

- ・ホームページのわかりやすさ、活用のしやすさを図る。

②会員サービスの充実を図る。

- ・素早い情報公開。

## ◇講習委員会

①各種研修会・講習会を積極的に実施する。

②建築積算士更新講習会へ講師を派遣する。

③地域部会が実施する積算研修会を支援する。

④地方の会社へ講師を派遣する出張講習会を開催する。

## ◇教育委員会

①建築積算士補の認定事業に伴う、大学・高専・工業高校・各種専門学校等において、当協会作成のテキストによる積算教育導入の広報と、講師派遣及び試験を行う。

②管内地方公共団体等から研修会の講師の派遣依頼要請に応えるために、講師の派遣を行う。

③認定校への情報提供と支援を行う。

④ここが知りたい勉強会を通じて、種々の立場の見積（積算）担当者を支援する。

## ◇資格制度委員会

①本部が実施する建築積算士試験、建築コスト管理士試験を支援する。

- ・建築積算士一次試験（学科） 平成26年10月26日（日）  
名古屋会場：昭和ビル 金沢会場：石川県勤労者福祉文化会館
- ・建築積算士二次試験（実技） 平成27年 1月25日（日）  
名古屋会場：昭和ビル 金沢会場：石川県勤労者福祉文化会館
- ・建築コスト管理士試験 平成26年10月26日（日）  
名古屋会場：昭和ビル 金沢会場：石川県勤労者福祉文化会館

②CPD登録の促進と支援を行う。

## ◇設計審査委員会

設計審査システムの充実と設計審査制度の活用を広めるための活動をする。

## ◇データベース委員会

①データベースの情報整備及び拡充を図り利用しやすい環境の整備を行う。

②ここが知りたい積算勉強会のQ & Aを整備して会員に公開する。

③将来解体時建設副産物のデータ化を進める。

④コストデータ表の利用促進を図る。

⑤物価版に掲載されていない単価表の作成を進める。

⑥ホームページ掲載のデータベース資料を広く活用ができるように広報活動を推進する。

## ◇地域委員会

①地域別勉強会を講習委員会と連携して実施する。

②新規会員の勧誘を行い、地域部会の活性化を図る。

## 平成25年度収支決算書

平成25年4月1日～  
平成26年3月31日

## 収入の部

科 目	予算	決算	差異
会費収入	42,000	42,000	0
人材育成及び認定事業	1,892,000	2,982,500	1,090,500
学校教育	42,000	27,700	-14,300
社会人教育	1,580,000	2,684,800	1,104,800
認定事業	270,000	270,000	0
調査研究及び情報発信事業	640,000	965,535	325,535
会誌発行	300,000	280,000	-20,000
書籍出版	340,000	685,535	345,535
評価評定及び相談事業	1,000,000	2,929,500	1,929,500
その他	22,000	7,183	-14,817
支部運営金	7,378,200	7,378,200	0
当期収入計	10,974,200	14,304,918	3,330,718
前期繰越収支差額	5,560,364	5,560,364	0
収入合計	16,534,564	19,865,282	3,330,718

## 支出の部

科 目	予算	決算	差異
事業費	4,424,000	5,381,524	957,524
会議費	650,000	678,819	28,819
会場費	520,000	564,010	44,010
旅費交通費	459,000	262,560	-196,440
印刷費	312,000	312,165	165
図書費	290,000	546,818	256,818
外注費	900,000	1,660,575	760,575
諸謝金	920,000	1,060,100	140,100
その他	373,000	296,477	-76,523
管理費	6,993,000	6,694,649	-298,351
給料手当	3,600,000	3,600,000	0
会議費	110,000	359,750	249,750
旅費交通費	850,000	612,360	-237,640
通信運搬費	350,000	231,922	-118,078
什器備品費	200,000	170,031	-29,969
賃貸料	1,048,000	1,047,816	-184
諸会費	350,000	185,000	-165,000
その他	485,000	487,770	2,770
当期支出計	11,417,000	12,076,173	659,173
当期収支差額	-442,800	2,228,745	2,671,545
投資活動支出	0	3,500,000	3,500,000
当期収支繰越差額	5,117,564	4,289,109	-828,455



## 最近の活動状況報告

### 総務財務委員会

委員長 川辺 清次

今年度が始ってもう3分の1が過ぎ様として  
います。本部の財政上の理由により、総務財務  
委員長会議も年3回から2回に減り、内1回は  
Web会議になる予定です。第1回会議が8月  
1日に開催で各支部より参集する事になります。  
そこで議題に上っている“支部規定”について  
7月23日に支部総務財務委員会を開催しそこ  
での議論を提案する予定です。次回に又、ご報  
告致します。

8月4日 毎年恒例の建築8団体連絡協議会と  
名古屋副市長との懇談会が開催されます。昼食  
を取りながらの1時間、こちらからの要望と名  
古屋市の計画概要について懇談します。積算協  
会からは支部長より毎年、設計図書に積算士の  
氏名と番号の記載を要望しておりましたが、昨  
年度の返答では営繕課の発注図書には記載する  
様になったとの事です。今年から副市長は前住  
宅都市局長ですのもう少し具体的な話が聞け  
るかも知れません。因みに昨年は耐震改修、コ  
ミセンについて何百何拾と実例があるのに、工  
事によってバラツキがあるのは何故か？ デー  
タベースを元にチェックシートがあれば解消さ  
れるのでは？と提案しましたがやっていないと  
の事だった。今年も繰り返し積算士の経営事項  
審査、総合評価の加点をお願いする予定です。

10月2日から4日迄の3日間、恒例の建築総  
合展が名古屋吹上ホールにて開催されます。初  
日の2日午後、建築8団体主催のセミナーがあ  
ります。テーマは『リニアがつなぐ将来の名古  
屋駅』です。建築展を見学しながら是非、セミナー  
にも参加をお勧め致します。以上ご報告迄

## 会員委員会報告

### 会員委員会

委員長 劔谷 智彦

今年度の会員委員会は、以前にも報告しまし  
たが以下の3項目について精力的に活動します。

#### ①協会専属講師の養成

会員の内から、豊富な実務経験を持った方に  
得意分野の講師を依頼する。

#### ②賛助会員の増強

賛助会員に会社PR及び専門業種として講習  
会の開催、講師等を依頼し、賛助会員に納得  
してもらえる賛助会員勧誘をする。

#### ③木造住宅耐震診断の相談窓口開設

数年前に「建築総合展」で行った、一般の人を対  
象にした木造住宅耐震診断及び見積書の無料  
査定を復活する。

特に①の協会専属講師の養成については、本  
部会員委員会においても、東海北陸支部の取り  
組みに注目しており、少し涼しくなる秋口に建  
築コスト管理士の資格を持つ方と懇談会を開催  
する予定をたてています。

建築コスト管理士の資格を取得したものの活  
用する場のない現状ですが、いままで培ってき  
た実務経験を活かすためにも、勉強会の講師に  
なって頂けませんか。

勉強会とは1回2時間程度で、参加人数は20  
名以下で対話型の座談会形式を考えていますの  
で、懇談会の案内が届きましたら気軽に参加し  
て頂きますようお願い致します。

②の賛助会員の増強については、賛助会員の  
特典として、支部報および支部HPに会社PR  
の枠を用意していますので、正会員の増強共々  
よろしくようお願い致します。

④木造住宅耐震診断の相談窓口開設について  
は、生田副委員長が奮闘努力していますので、  
今しばらくお待ち下さい。

## 建築積算士補認定校講師交流会

教育委員会

委員長 山田 治

去る3月19日に、栄の中日パレスにて、建築積算士補認定校講師の方々と交流会を開催しました。当日は、実施7校で8名の参加をいただきました。積算協会からは、支部長の代行として藤井副支部長、事務局長の道家さんと私の3名、合計11名です。

開催に先立ち藤井副支部長より、講師陣へのご尽力に対する御礼の言葉とともに、積算士補の状況を説明しました。

3月現在で認定校は全国で52校あり、受講学生数は1850名、その内8割が受験をし、合格者数は1080名で登録者数は500名弱です（6月には886名となっています）。東海北陸支部は全体の25%を占めています。



その後は山田がまず自己紹介をし、続いて講師の方々の自己紹介をして頂きました。意見交換会は会食とともに進める予定でしたが、皆様熱心に自己紹介をされましたので、なかなか乾杯までたどりつけませんでした。

自己紹介を通して伝わってきた事は、何とか自分自身の経験や学んだ事を全て生徒さんに伝授したいのだという事です。学校・学科によっては、生徒さんが必ずしも建築関係を目指さない場合もあります。積算士補を取得しても、将来その資格が生かされないなら、受講は単位取得のためにするが、試験までは受けない。また受かっても登録はしない。

生徒の皆が積算に対して興味を持ちながら、楽しく

授業を進めていくにあたっての工夫・ご苦勞されている事が、自己紹介を通しヒシヒシと伝わってきました。

皆様が一通り語られ、のどの渴きを覚えた頃にいよいよ乾杯でした。ひとときは講師の方々と和やかに歓談をしました。この後は、山田が進行役を務め本題に入っていました。

主な意見交換会の議題は以下の四点です。

1. 建築積算士補資格認定制度について
2. 「建築積算」の授業について、苦勞・工夫されているところ
3. 資格者を増やすための意見・ご提案
4. その他当協会全般に対するご意見

第一の『認定制度』についての意見は少なかったので、(主に登録料・合格点についての議論を尽くした内容) 将来積算士を受験する際には、積算士補を登録しておけば、一次試験から受験するよりも絶対有利だと受講生の方々へのPRを協会側より講師の皆様にお願ひしました。

第二の『苦勞・工夫』されている点に関しては沢山のご意見を頂きました。以下にご意見を集約して掲載します。

・土木工事は発注者責任(官庁発注)となり、積算資格者は不要である。一方建築では、官側に積算のプロが少ないので、資格者が重要であると、生徒に言い聞かせて積算の重要性を説いている。

・専門学校では、二級建築士の取得を必須としており、資格取得後に積算士補を取得させて、就職に有利になるように指導している。二級取得者には、躯体図を描かせてから、自分の図面で積算をさせている。その際に必ずコンクリート・型枠・鉄筋を同時に積算させている。協会のテキストを順番に教え



ると、単発的となり、理解が深まらないので、この様に関連を付けて教える方が呑み込みも早いと感じている。

・インテリア科・大工科まで広げて授業をしているが、構造が理解できなかつたり、木工事がなかつたりと、枠を広げた事に反省している。受講をする確固たる理由付けを示さないと難しいのではないかと痛感した。

・工高生には、2年次に積算士補を取得させて、3年次の就職活動で履歴書に資格を記載できる様にしている。施工(生産)のカリキュラムの中で、自分の経験談から積算も重要である、と教える方が生徒は興味を持って聞いてくれる。

・積算の科目での単位取得が、一級建築士試験で認められる様になったので、積算士補を受講するようについて授業に組み入れている。講師陣は積算の素人なので、先生同士でテキストを読み合わせて、切磋琢磨している。協会の方針とは違うかも知れないが、実技より資格取得に重点を置いて指導している。

・東海北陸では、初級～上級講座まで完了した方でも、三次元で図面を理解するのに手間取る事があった。他支部からは、現在のテキストの編集順序では、説明しづらいと意見もあったが、今皆さんの意見を聞いていますと、講師が工夫してテキストを活用すれば問題ないと感じました。

第三の『資格者を増やすため』のご意見・提案でも貴重な意見をいただきました。

・経営事項審査(経審)に必要なれば、沖縄出身(沖縄では資格者に2点与えられている)の学生が多いのでPRしやすい。希望者には内訳作成～値入までを教えているが、人数は少ない。是非協会でも関係官庁へ働きかけて欲しい。

・今年も専門学校で積算を学んで、希望して入社してくれた新人が2名いるが覚えが早い。今時の子は、ハングリーでないから、車が欲しいとかという物欲にかける。何でも手に入る分、何にでも執着心が薄い。積算への興味を如何に持続させるかが大切だと感ずる。

・工高生は木造が主体であるが、積算士補にはその科目がないので、検討して欲しい。また女性はきめ細かさの点から積算に適していると思うので、女性に広める方策を検討して欲しい。

最後に『当協会全般に対するご意見』をいただきました。

・積算協会の冊子は親切すぎる。分からなければ辞書を引くなりすれば良いのだから、テキストは断定的でかまわない。また気になるのは、トライアングルの考え方である。積算を含めて三位一体とあるが、顧客・設計・施工が三位一体なのであり、積算は△の中心に据え、それら全てに関わる位置付けとすべきである。

・工高生のテキストにも歩掛が載っているが、それが授業に生かされるまでになっていない。また建築の実務者であっても、設計者は図面の事だけ、施工者は生産の事にしか興味を抱いていない方が大半であると感じる。どんな場面であっても積算は全てに関与する事を協会は、もっともっとPRをしていただきたい。

終盤には皆さん打ち解けて、和気あいあいのなか予定の時間はあっというまに過ぎました。貴重なご意見は、執筆にあたり議題四点にとりまとめたものです。支部でできる事は支援をしていく約束をしました。また本部へはこの交流会でのご意見を取り纏め要望として提出し、検討結果もご報告する旨をお伝えし閉会しました。

講師交流会は、有意義な会合となりました。皆様の積算に対する情熱に脱帽するばかりでした。今建設業をとりまく状況は、人手不足による物価高騰に苦しんでいます。だからこそ見積・積算が非常に重要視されています。

会員の皆様には、東海北陸での積算士補の教育が浸透してきている事を少しでもご理解いただければ幸いです。最後になりますが、地道な活動を今後も続けてまいりますので、どうぞご支援の程宜しくお願いします。

## 講習委員会だより

### 講習委員会

委員長 藤井 正王

平成 26 年度も例年通り講習会を実行してまいります。今年度は今までの内容に少しでも実技を追加し、イメージ的にも積算を知ってもらうようにする事です。5月1日に新入研修としての講習会を開催しました。会場の都合で39名の方で打ち切らせて頂きましたが、その後4名の参加申し込みがあり、大変申し訳ない結果になってしまいました。そして中にはひとつの会社で5名の参加を頂いた所もありました。

5月28日と6月11日に改修工事の講習会を開催しました。昨年度は3日間で開催されましたが、内容を検討し、仮設・防水改修・外壁改修・内部改修・建具改修・耐震補強に絞って講習を2日間としました。そして会場の都合で延べ40名と定員に達してしまいました。非常にあり難い事ですが、来年度は会場の設定及び講習内容を再検討の必要があると思います。

この後の講習会として、建築積算ガイドブックの講習会・鉄骨講習会・建築積算基準の講習会・建築積算士対策の講習会・積算実技講習会等が予定されています。そして随時募集しています。なかなか浸透していませんが、私共としてはもっとも建築積算を習得できるシステムではないかと思っています。また出張講習会も随時募集しています。これは会場を依頼者の指定の場所に出向き、依頼者の要望に沿う内容で講習会を行うものです。詳しい内容等は当協会のホームページを参照して下さい。

昨今の建築需要の増加や資材及び人材の不足で先行き不透明な業界ですが、その中で建築積算に対しての認識が少し高まってきたような事を感じます。それにお答え出来るような講習会にしていきたいと思っています。

## 建築コスト管理士・建築積算士試験案内

### 資格制度委員会

委員長 林 進

平成 26 年度の建築コスト管理士試験・建築積算士試験のご案内をいたします。

#### 建築コスト管理士試験

試験日 平成 26 年 10 月 26 日 (日)

試験地 名古屋会場 昭和ビル

金沢会場 石川県勤労福祉文化会館

#### 建築積算士一次試験

試験日 平成 26 年 10 月 26 日 (日)

試験地 名古屋会場 昭和ビル

金沢会場 石川県勤労福祉文化会館

#### 建築積算士二次試験

試験日 平成 27 年 1 月 25 日 (日)

試験地 名古屋会場 昭和ビル

金沢会場 石川県勤労福祉文化会館

建築積算士更新講習は今年度よりインターネットによる eラーニング受講となりました。インターネットに対応できない方には DVD 受講も用意しております。DVD を視聴していただいて eラーニングと同様の受講となります。忙しくて講習会場に足を運べない方は、ご都合にあわせて受講できる eラーニング受講または DVD 受講が便利です。

#### 講習期間は

平成 26 年 7 月 1 日から平成 26 年 10 月 31 日です。

更新講習受講申し込み状況は 7 月 4 日現在で次のようになっております。

eラーニング受講 全国 1340 名

東海北陸 174 名

DVD 受講 全国 758 名

東海北陸 96 名

eラーニング受講、DVD 受講どちらでもない方は事務局まで問い合わせください。



## 設計審査委員会だより

設計審査委員会

委員 平井 隆志

昨年1年間の設計審査委員会には、発注者と受注者からの依頼がありました。

主に労務者不足に起因する昨今の労務費高騰の勢いが止まらず、昨年度は公共工事の入札不調が相次ぎました。

設計審査委員会でも、公平な立場から公共工事の審査をしましたが、①予算作成時の古い刊行物の市場単価となっており、②更に現況の刊行物市場単価も3～6カ月前の取引価格であるため③発注時までの物価上昇も見込めない、三段階の予算不足となっております。

20数年前のバブル景気の際には、建設業界は市況より2年遅れて始まり、バブル崩壊後も緩やかに下落し、実経済の倍の8年間かけて元に戻りました。従いまして、価格の上昇下降カーブが、実経済より遅延してかつ緩やかに変動しました。

現在は、複数の要因が絡み上昇カーブが急激に上向いており、関東・東北地方が先行して上昇し現状では、東海地区でも躯体単価はバブル期とほぼ同等まで上昇しております。刊行物単価を最新版に見直しても、市況は更に値上がりして、イタチごっこの様相となっております。

発注者の予算編成も、公平な審査の立場としても、刊行物の市場単価に頼るしかなく、その改訂によるタイムラグを少なくして、より現況に近い単価とする仕組みに変更していただきたいと思います。また、受注者の立場としては、予算に先行見込を考慮していただくか、工期の長い工事は、公共・民間を問わず、物価スライド条項に対応する体制を早急に構築されることを望みます。

今後の繁忙期を建設業界が乗り切るためには発注者・受注者共に納得してできる仕組みが必要となります。設計審査委員会として、公平かつ的確に市況をふまえた審査により、お役に立てるように活動していきます。

## データベース委員会だより

データベース委員会

委員長 加藤 一也

平成26年度がスタートしました。東京オリンピック開催に向けてあと6年ですが、国立競技場解体は3月に解体工事の入札公告→5月末に応札。結果は・・・今年に入り労務者不足、資材不足、それに伴う材料費や人件費の高騰が原因で予定価格を大きく上回り不調に。高額な予算を組んで7月17日開札予定。果たして予算内で解体を請負う業者がいるのだろうか・・・

解体の開始が遅れることにより27年10月19日までに工事完了予定のようです。

データベース委員長として2年目を迎え、活動目標である将来解体時副産物のデータ化は休止して24年～26年度積算勉強会の資料を基に教育委員長と協議し、積算事務所所員を交えて物価版の利用方法、物価版に掲載されていない単価等について検討して行こうと思います。会員皆様の積極的意見とアンケートに協力して戴き、データベースの情報整備及び拡充を図り、利用しやすい環境の整備を図ると共に今後ホームページに掲載して広く使えるデータベースの構築をしていきたいと思っています。

個人的としては5月18日に高橋尚子杯清流マラソン大会(岐阜)に参加しました。

マラソン大会参加などと大きなことを書きましたが、実際に走る距離は3km～5kmが主体です。

1年間を通じて健康でいられるバロメータとして走れる事が一番かと思ってやっています。

10月からはハーフマラソン(21.0975キロ)にチャレンジするつもりでいます！



## ホームページ委員会だより

ホームページ委員会  
委員 西村 洋司

みなさんこんにちは。梅雨も明け、本格的な夏となっていますが、夏バテなどせず、元気に積算していますでしょうか？

私は体に蓄えが多く、夏が苦手なので、周りが涼しい顔をして仕事をしている中、汗ダラダラ、そして最近、変更積算ばかりで同時に何件も並行で作業している為、いつかミスしないかと冷や汗タラタラでがんばっております。

夏といえば、ここ数年よくニュースでも取り上げられている熱中症ですが、屋内でも熱中症になる場合があります。積算に携わっているみなさまは仕事上、屋内で過ごすことが多いと思われませんが、適度な室温調整・水分補給等の対策をし、元気に夏を乗り切りましょう！！

又、この季節になると、弊社ではインターンシップの受け入れも行っています。毎年フレッシュな高校生を見る度に卒業して〇〇年経ってしまった！！と若干へこんでしまいますが、インターンシップをきっかけに弊社へ入社した子もいますので、インターンシップでの高校生との交流を通して、積算の楽しさややりがいを伝えることにより、積算への関心も持ってもらえたらと思います。

ここ数ヶ月ホームページはチェックして頂けましたか？現在、ホームページ上で会員様の意見を収集するフォームをもうけさせていただきました。積算に関わる事や協会への要望等、多数の意見をお待ちしています。

又、随時新しい情報を更新していますので、全体を通して見て頂けるとうれしいです。

## 資格者の資質について

ペリカン委員会  
委員長 中川 英人

昨今の建設事情は特に発注者側に於いて非常に悩ましい現実を突き付けられています。建設費の高騰で明確な予測が困難となり、費用調達の可能性が確立出来ないまま安直に実行に移せず困惑しているのが現状と思われれます。

東京五輪施設の目玉となる新国立競技場の建設費に対し、なぜ400億もの見当違いをしたのでしょうか。不調不落案件が全国で問題になっているにもかかわらず、予測コストの再点検もそこそこに強引な発注を押し進めるのはどうしてでしょうか。事業計画に於けるコスト意識は大変重要であると理解しつつ、表面化した予算だけが一人歩きし、動き出してしまった事業はなかなか後戻りや延期を決断出来ず、設計の完了まで突き進んでしまいます。そうならざるを得ない背景があるにせよ、思惑通りにいかなかった場合のその後には掛けなければならない労力・時間・経費は計り知れないものがあり、発注側・設計側・請負業者側の三方ともに何の利益も生まず、無駄な浪費、徒労で終わっているのです。

積算協会の認定事業で取得された建築積算士・コスト管理士の立場にある人は、これらの社会的な大きな問題を真正面から受け止めるべきだと思います。発注者、場合によっては設計者側にも適切なアドバイスや、建設コストの情報を正しく発信出来ていないところに潜在的な問題があるのでは、と考えます。ペリカン活動として外に向けて資格取得の推進も大切なのですが、当協会の認定資格を取得している建築積算士・コスト管理士がその役割や果たすべき責任を自ら問いただして資質、スキルの向上に努力していかなければ資格者としての重みは薄れ、飾りだけの資格となりはしないでしょうか。

建設市場の価格が大きく変動している時こそ、その期待に応えられる用意をしたいものです。



# 講習会のご案内

講習委員会

## 1. 鉄骨工事の講習会

鉄骨工事（設計・施工・積算）の体系的な学習の場としての講習会です。

- ・開催日時 平成26年8月21日（木） 10時～17時
- ・開催地 名古屋：昭和ビル9階 名古屋市中区栄四丁目3-26
- ・受講料 8,000円（会員 7,000円）
- ・テキスト代 3,600円（会員 3,390円） 「鉄骨工事のガイドブック」

## 2. 建築積算の講習会2

建築積算士一次試験を受験される方を対象にした講習会です。

- ・開催日時 平成26年9月10日（水） 10時～16時
- ・開催地 名古屋：昭和ビル9階 名古屋市中区栄四丁目3-26
- ・受講料 8,000円（会員 7,000円）
- ・参考資料 4,630円（会員 4,420円） 「建築積算士ガイドブック」

## 3. 建築数量積算基準・同解説の講習会

建築積算を学ぶ方、積算積算士を目指す方の建築積算技術の向上を図る講習会です。

- ・開催日時 平成26年10月8日（水） 10時～16時
- ・開催地 名古屋：昭和ビル9階 名古屋市中区栄四丁目3-26
- ・受講料 8,000円（会員 7,000円）
- ・テキスト代 4,320円（会員 3,888円）  
「建築数量積算基準・同解説（平成23年版）」

## 4. 建築数量積算の実技講習会

建築積算士二次試験を受験される方を対象にした講習会です。

- 一日目：経費・躯体 二日目：仕上・鉄骨
- ・開催日時 平成26年12月13日（土）、20日（土） 10時～16時
  - ・開催地 名古屋：昭和ビル9階 名古屋市中区栄四丁目3-26
  - ・受講料 1日につき 8,000円
  - ・参考図書 4,320円 「建築数量積算基準・同解説（平成23年版）」

申込み方法など詳しくはホームページご覧ください

<http://www.bsij-tokaihokuriku.com/>

又は ホームページの検索   クリック

## 「建築積算の添削講座」のご案内

講習委員会

仕事の合間や休日などの時間を使って、建築積算の実技を学ぶ添削講座を開催しております。

内容は、

**初級**（RC 平屋建て 部屋数 2 部屋）：建築積算士ガイドブック受講者

**中級**（RC2 階建て 部屋数 4 部屋）：実務経験 1 年程度の方、初級修了者

**上級**（RC3 階建て 部屋数 17 部屋程度）：実務経験 2, 3 年程度の方、中級修了者

コースは、経験に合わせて選んで頂き、順次ステップアップも出来るようにしております。

初級・中級は、図面から作成した積算書を使い、積算書にある数字に対し計算式及び説明図を作成する「紐解き」方式としております。上級は、図面から積算書を作成します。そして、最終的に値入まで学びます。方法は、当支部より図面・積算書を受講者に送付し、結果を当支部へ返送していただきます。そして最終的に建物の全ての内訳書の作成、工事費算出までの全体象を理解していただきます。

添削方法は、郵送またはメールいずれかの方法で行います。

添削講座は、建築積算士ガイドブックの実技講習で基本的な数字の算出の仕方と書き方を勉強して頂き、次のステップとして受講していただくことをお勧めします。

### 1. 申込み受付

月末までの申込みに対し翌月 15 日より添削指導開始

### 2. 受講期間及び受講料

初 級	2ヶ月半	添削回数	5回	7,500円
中 級	4ヶ月	添削回数	8回	12,000円
上 級	6ヵ月	添削回数	12回	18,000円
値 入	2ヶ月	添削回数	4回	6,000円

申込み方法など詳しくはホームページご覧ください

<http://www.bsij-tokaihokuriku.com/>

又は ホームページの検索   クリック



## 愛知県建設技術研修会

## 東京から その4

講習委員会

支部会員

委員 山田 治

委員 西田 彰

6月10日に丸の内の自治研修所（アイリス愛知）へ『建築積算』についての講師に行ってきました。ピンチヒッターでしたので、前任の講師から講習内容の資料と、アンケート結果をいただき、多少の資料を追加し講習をしました。

受講者は、各市町村を含め若手の技師が、約50名でした。（4割が女性の技師だった事に驚きました）一時間半で積算未経験者に、昨年のアンケート結果の要望すべてを受けて、講習するには無理があります。

要望の多くは、積算基準をもっと知りたかった。積算の実務が知りたかった。専門用語が多くてよく理解できなかった等々でした。そこで講習内容は、視点を替えて、発注者側として最低限覚えて欲しいツボに絞り込みました。

積算基準については、抜粋編のポイントのみを説明し、積算の仕方についても、躯体・外部、内部仕上の拾いのテクニックの披露程度にとどめました。積算業務の従事者は、内部ですと30室を一日に積算して一人前だと言われますと説明すると、4～5年経験の中堅技師から、スゲーと言った雰囲気はヒシヒシと伝わってきました。

だから発注者側に重要なのは、出てきた成果物を、大掴みにチェックできる積算能力（歩掛を理解する）をつける事が重要だと力説しました。予算書を作成する際には、日程の制約がありますが、図面が完了してから積算をスタートさせないと、かえって手戻りが多くお互いが苦勞する事になる理由を、積算日程表で説明しました。

今後発注される場合には、設計業務と積算業務は分離発注するのが良い事と、積算士がいる事務所へ発注するメリットを、事務局が用意した『積算士・コスト管理士』の一覧表を全員に配付してお願いしました。また他府県には、積算士の方々もいる事を伝え、積算資格士の取得を目指してくださいと、PRをしてきました。

私の隠れ家は、新宿から京王線で一つ目の「笹塚」です。駅前には甲州街道が通りにぎやかな街ですが、一步入れば昔ながらの商店街と住宅の静かなところ。今回は、出勤風景です。

東京人は、とにかく足が速い!! なぜ急ぐのかわかりませんが、いつも走っています。電車のドアが開くと我先にと飛び出し一斉に走り出します。駅のホームはランニングコースと化します。エスカレーターに乗っても片側は走っています。とても危険です。新宿駅西口では、京王線からの人の流れと、JRからの人の流れが直角に交わります。これらの人々は道を譲ることはなく「お前が避ける」と言わんばかりに突進してきます。ですから私のように気の弱い人間には、この人波をかき分けて進むことは至難の業です。まっすぐに進んでいるつもりが、気がついた時には下流に流されています。横断歩道も信号が「青」に変わるやいなや・・・as soon as 一斉に走り出します。まさしくマラソンのスタート状態です。もう少し早く家を出られないものかと思えます。

通勤途中には、早朝から開店している飲食店がたくさんあります。ハンバーガー、フライドチキン、セルフのコーヒー、立ち食い蕎麦、牛丼・・・朝からお酒を出している中華料理店もあります。複雑にニオイの入り混じった中を通勤しています。会社に着くまでにニオイだけでお腹がいっぱいになります。私が驚いたのは立ち食い蕎麦ならぬ立ち食いカレーです。駅の周辺では「朝カレー」なる看板を掲げたお店が何軒もあります。立ち食い蕎麦屋にも「カレーセット」なるメニューがあります。名古屋人は、朝からカレーライスなど食べません。東京人は、カレーライスを目にも留まらぬ速さでズズッとすすり込んでいきます。「カレーライスは飲み物である」と確認しました。東京の朝は、あわただしさとカレーと納豆のニオイで満ちあふれています。

## 東京から その5

支部会員

委員 西田 彰

東京の地理が分かりません。何となく分かるのが、いつも降り立つ東京駅と会社のある新宿、積算協会の赤羽橋とJ A Q Sの渋谷です。それも駅周辺のみです。今回は、電車のお話です。

東京での電車の乗り換えは複雑怪奇で予習が必要です。乗り換えといえども駅が広いので相当な距離を歩くことになります。また人が多く、かき分けて進まなければならないので時間がかかります。トホホな話ですが目的地までの時間がいまだにつかめません。

何本もの線が集まる駅での乗り換えは迷子になりそうです。あまりにも広い・広すぎます。地図を片手に動いていますが、あちらに行ったりこちらに行ったり、逆方向の電車に乗ったこともあります。きっと駅構内で遭難する人が出ると思います。「新宿駅で遭難!! 捜索隊が出動!!」きっとそのうち新聞に出ます。遭難で思い出しました。数年前、大阪梅田の百貨店で遭難しました。出口が分からなくなり近くにいる案内係に尋ねてようやく脱出、九死に一生を得ました。この百貨店では遭難する人が多いようなので、フロアの隅々には地図を持った案内係が立っています。

路線も多く本数も多いので、確率的には不思議ではありませんが、東京の電車は、人身事故や信号機の故障で毎日のように止まったり遅れたりします。雪が降れば、必ず止まります。昨年暮れには、一週間に二度も帰宅時間に電車が止まり帰宅難民となり、タクシーで帰る破目になりました。痛い出費です。

本数が多く、車両も10両編成はあたりまえ。主要な所へは何通りもの行き方があり運賃が安い。便利な乗り物です。山手線は、すぐに来ます。発車した電車の後ろに次の列車が見えていることもあります。待つという感じはありません。環

状線ですから、いっそ全部つないで動く歩道にしたらと思います。

車内での会話は、ほとんど聞いたことがありません。あれば、出張サラリーマンか外国人のグループです。基本的に東京人は一人で行動していますから話す相手はいません。ぶつぶつ独り言を言っているのは、少し危ない御方です。・・・(時々お見かけします) よって車内は静かです。ほとんどのの方がうつむいてスマホに夢中になっています。東京人には猫背が多いといわれている由縁です。逆に大阪では「・・・でんがな・・・まんがな」と大きな声が聞かれます。それはにぎやかです。

車両を渡り歩く人が目に付きます。とりあえず電車に飛び乗り、降りる駅の出口に近い車両を目指して大移動をします。電車を降りてからホームを歩けばと思うのですが、東京人の気質なのでしょう。せっかちです。

なぜか空席を見かけません。誰かが座ります。優先席も、すぐに埋まります。車両の中央あたりにポツンと一つ空いていると老若男女・ニューハーフを問わず誰もが猛ダッシュして座ります。まさに椅子取りゲーム状態です。名古屋では入り口付近で立っているというか・・・屯(たむろ)しているのが普通です。わざわざ車両の真ん中にまで行って座ろうとはしません。名古屋人は、遠慮深いのか面倒くさがりなのか・・・それともシャイなのでしょう。

出入り口の上に液晶のディスプレイが二つあります。一つは「次は〇〇駅」など、列車の運行に関する情報を流しています。もう一つは、広告やニュース、現代用語に関するクイズや英語のワンポイントレッスンなどが流れています。意外と勉強になります。気をつけないと降りる駅を忘れるほど見入ってしまいます。先日は、中年のサラリーマンが英会話レッスンの画面に向かって大きな声で勉強をしていました。・・・(無邪気)

「Lesson one. Repeat after me!





## 積算と出会って

株式会社 二葉積算  
名古屋支社 植村 友理

私が積算という仕事を知ったきっかけは、就職活動中に大学から二葉積算を紹介して頂いたことです。当時就職浪人だった私は、建築という道を諦めようと考えていました。そんな時に紹介の話が舞い込んできたのでまだチャンスがあると思い、面接へと挑みました。

実際に積算業務に携わってみると、自分の建築の知識など本当にちっぽけなものだなあと感じました。ほぼ0だったと言っても過言ではありません。特に積算という分野は大学で全く取り扱わなかったので、未知の世界でした。先輩方にはまず部材の名前から教えていただき、大変苦勞させていたのではないかと思っています。毎日が新しいことばかりの出会いで頭がパンクしそうでした。

そんな日々を過ごしながら感じた私にとっての積算の魅力は、色々な建築物と出会えることと、その建築物を隅々まで見ることができるところです。一つの図面に向き合っている時間が短い積算はさまざまな建築物を見るには最適な職種だと思います。短い期間でありながらも細部まで図面を読み込み、拾いを積み上げていく作業は、まるで建築物を建てているように感じる事ができます。

入社して1年半ほど経ち自分の知識は0ではなくなりました。しかしまだまだ勉強不足です。分からないことがあれば先輩方に聞くというのは大切なことではありますが、今までそれだけをしてきた私は自分で学ぶということを怠ってきたと思います。そんな自分から卒業し、先輩方が知らないような知識を得られるよう日々努力していきたいと思っています。

## 就業体験

名古屋市立工芸高等学校  
建築システム科2年 田村 圭祐

私は、二年生での大きな行事、就業体験で株式会社剛谷建築積算事務所という場所に行かせて頂き、実際に積算という仕事に触れさせて頂きました。

最初は授業で少し習っていただけでほとんど何も分からない状態で始まりましたが、担当の方に細かいところまで詳しく説明して頂き、自分も少しでも理解しようと一生懸命頑張った甲斐もあり就業体験を終えた今では最初のころとは積算についての知識がだいぶ変わったように思います。

就業体験一日目は簡単な図面を見て拾いのやり方を教えて頂き実際に拾いを体験しました。

二日目には、一日目に図面を見て拾ったものを実際にパソコンに打ち込む作業を体験しました。

自分的にはこの二日目のパソコンに打ち込む作業が一番楽しく作業できました。

そしてそのパソコンへの打ち込みが終わると次に、少し難しい図面を渡され、自分一人で拾いをしました。

やはり最初にやった図面とは違いかなり難しく、体験終了の時間になってしまいとても中途半端なところで終わってしまいました。

就業体験三日目は、就業体験最終日ということもあり少しでも最初のときとは違うということを実感するため、今まで以上に集中して作業しました。そして、ほぼ完璧に拾いができたときはとても嬉しく思いました。

この三日間は台風の影響でいつ体験中止になるかわからない状況だったのですが、幸運なことに一日も休みにならなかったのが良かったです。株式会社剛谷建築積算事務所の方々お忙しいところ、積算についてぜんぜん分かってなかった自分のために貴重な時間を割いていただき本当にありがとうございました。

## 一人前の積算士へ

株式会社アイピーエス

積算部 齊藤 成貴



私は昨年高校を卒業し、現在の会社に就職しました。私が建築の道に進むこととなった理由は、高校3年間で建築の勉強をしたことで、建築に興味を持ったためです。

私は、工業高校の建築学科にいたのですが、入学当初は建築に対する興味そのものはあったものの、建築の予備知識を持っていたわけでもなく、また将来建築関係の仕事に就こうと本気で考えていたわけでもありませんでした。そんな状態で建築を学んでいたのですが、毎日授業を受けているうちに、自分の中で建築についての知識が少しずつ深まり、同時に建築物を取り扱う職業に対する興味も段々と湧きました。この頃から私は自分の将来について考える際に、建築関係の仕事に就くことを視野に入れるようになりました。

しかし、通っていた高校では建築積算に関する授業がなかったため、3年生の時に積算の講習を受けるまでは、積算という業務についてはほとんど知りませんでした。建築物を作り上げる過程として、設計や施工のみではなく、それらにかかる費用の面での算定等を行う必要があるのだらうとは思いましたが、積算という分野にあまり触れてこなかったこともあってか、私は建築物を施工する上でのコスト関連の業務の手間や重要性を少々軽んじていました。そのため、建築物の数量の積算に予想以上の手間がかかることや、建築積算の役割が建築物を造る上であらゆるプロセスで重要になってくることを知って、私は驚くと同時に、自分がまだ建築について知らないことばかりだと自覚し、積算につい

てより深く知りたいと思うようになりました。

私はまだ1年程しか勤めていないため経験も浅く、建築積算も理解できていないことも数多くあります。高校で勉強してきたことは、建築という幅広い分野に於いて必要とされる知識のうちの、ほんの一部でしかなかったのだと。しかし、実際に働いてみると、上司やお客様からの指摘やお叱りの言葉を受ける度に、積算業務が建築物を造る上で欠かすことのできない重要な役割を担っているのだと実感します。建築積算は建築という規模の大きなものを扱っているため、ほんの僅かな積算ミスでも膨大な金額の損害につながってしまうため、建築積算は高度な知識と技術、それらを培っていくための経験が必要とされる重要な業務なのだ改めて認識しました。

先日、私は建築積算士の資格を取得しました。今回建築積算士試験を受験した動機は、①積算についてより理解を深めたいと思ったこと、②今後プロの積算者として積算に携わっていくことになる以上、建築積算士は最低限取得しておきたい資格だと考えたこととなります。しかし資格を取得することができたとはいえ、知識・技術・経験等、私にはまだ多くのものが不足しています。積算業務に携わる者として、そして一人の社会人として、私はまだまだ未熟者ですが、今回建築積算士を取得したことによって、自分の力に少しだけ自信を持つことができるようになったと思います。今は、後輩社員も配属され、時には自分の知識の中で教えながら、日々の業務に取り組んでいます。合わせて、建築積算士だけで満足することなく、建築士を始めとした各種資格の取得についても前向きに考えていこうと思います。



## 外装サーモグラフィー(赤外線画像)調査について

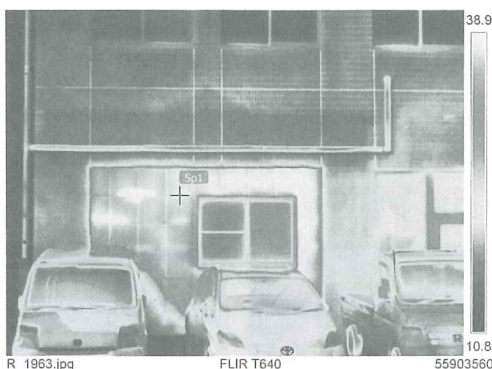
中日本ハイウェイ・エンジニアリング 名古屋(株)  
金沢支店 中谷 道和

平成 20 年 4 月に変更となった建築基準法 12 条点検に基づく定期報告制度が施行され丸 6 年が過ぎようとしています。その中に、「竣工、外壁改修等から 10 年を経ってから最初の調査の際に全面打診等により・・・」が加えられました。

個人的には、こんな事を法律で決めて本当に守られるのかなと思っていましたが、最近では、各自治体も法の遵守を求めているようです。私の住まいも、8 階建て外装タイル張りの築 11 年の RC マンションですので該当します。ただ、近々予定している大規模修繕時に調査を行うということで、去年は免除されました。

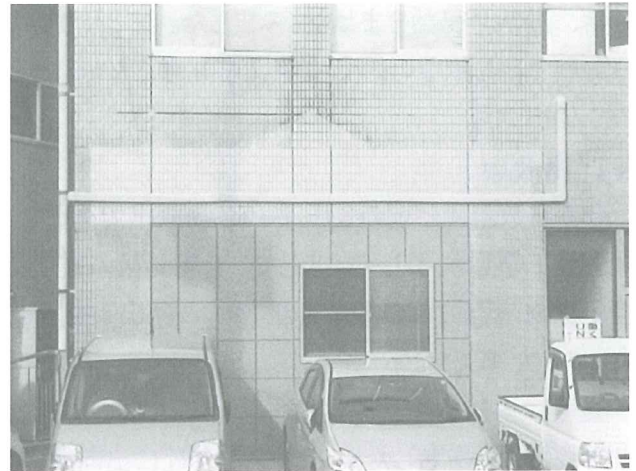
さて、全面打診等の調査方法で、スーパーマンのごとく期待を集めたのが、赤外線カメラ撮影画像による外装剥落危険性の確認でした。細かな原理は専門書に譲るとして、おおまかに言ってしまうと、赤外線カメラ画像とは「赤外領域の放射強度を記録したもの」です。厳密に言えば違うのですが、要するに、建物の表面温度の分布写真です。例えば、タイル裏に空気層があれば、その部分は周りとは違う温度になっているので検出されます。ただ、放射強度が違う理由は種々色々あるので、「浮き」だと断定されないのです。

さて、赤外線画像①を見てください。もちろんこれだけでは我々が知りたい外装の危険箇所は特定されません。



赤外線画像①

次に、普通の写真画像と比べてみます。



詳細は省きますが、まだ外装の浮きと判断されるような異常な温度分布は無いように思われます。次に、赤外線画像の温度レンジを変えて、引き続き画像解析を行います。赤外線画像②をご覧ください。



赤外線画像②

赤丸で囲った部分が何か異常があるようです。打音検査を行ってみると、タイルの「浮き」が確認されました。このように、「浮き」があるからといって顕著に現れるわけではありません。

まだまだスーパーマンには及びませんが、パーマンぐらいの活躍はできそうです。他に方法が無い以上赤外線カメラ画像による外装調査は今後も伸びていきそうです。

## 建築のプロセス(とある建物が出来るまで)

大日本土木(株)建築積算 G

加藤 一也

私が数年前に、とある建物が完成するまでの苦労話、裏話、秘話をまとめてみました。まとまりのない文章で申し訳ないのですが文を9章ぐらいにまとめてみました。

### §1. 出会い

今から数年ほど前の3月、私は各務原市でクリニック建設工事に従事していきまして、1週間後に竣工を控え建物の引渡しの為に発注者への提出書類を作成していた頃です。

突然、当社営業部長より社屋新築工事の施工担当所長として指名したから、その会社に出向き『社長の面接を受けに行ってくれんか・・・』と言った内容の連絡が携帯電話に入りました。『面接って?何事だ?』って思い確認したならば相手社長は非常に気難しい人だから私の性格、態度、仕事に対する考えを聞きたいとの事でした。注意事項として無駄な会話は慎みボロ?を出さないようにと指示されました。

今だから話せるのですが、当時の別会社の部長(今回仕事を紹介してくれた社長の友人)から面接を受けるに際して、一冊の本を手渡され熟読するようにとアドバイスを頂きました。その本とは・・・今回面接をする社長が尊敬する工業会社の社長が執筆された本でした。本などあまり進んで読んだことの無い私でしたが、面接に必要と聞き、その晩は何度も何度も読み返しポイントを復唱しました。翌日の夕方4時、会場に向かい応接室に通されると直ぐ様面接が始まりました。第一印象は、体の大きな人だな・・・と。

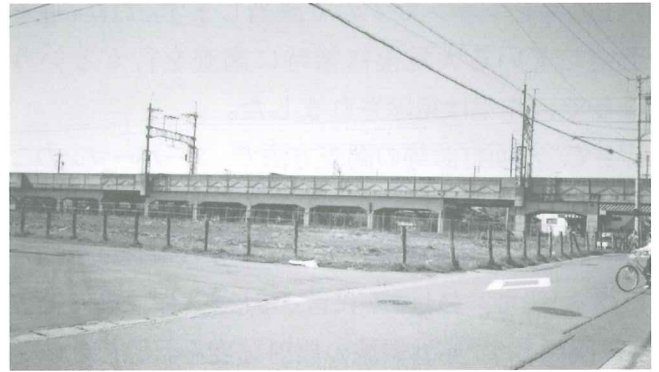
あまり話さないように静かに話を聞いていましたが、『最後に何か尋ねておくことは無いですか?』と云われて、社長に『この建物のコンセプトはなんですか?』と聞きました。社長曰く、『そういえばコンセプトは・・・まだ決まっていない?!』との回答。(今も回答なし)

面接は無事に終わったのだろうか?と半信半疑の中、9月中には建物が完成しないと現在賃貸してい

る事務所を退去しないと金利が発生するとの事で起工式の準備を進めるように伝えられました。4月着工→9月完成?かなり無理な工程では?ふと脳裏に嫌な予感が。これが後々の展開に繋がるのです。そうこうしているうちに起工式は早くも、近々の暦で言う大安が良いとの事で4月11日に決定しました。

### §2. 工事着手

起工式も無事に終わり、いよいよ工事着手。下の写真は工事着手前の敷地全景です。



まずは杭打ち機械の搬入。引続いて発電機、プラント(杭を固めるセメントの箱)、水を溜める水槽等が搬入されました。



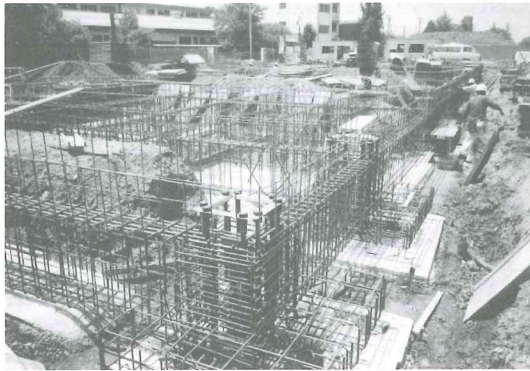
4月22日杭打ち。まずは試掘をして支持層(建物を支える地盤)の確認をします。試掘状況(下左)、ボーリングデータ通りの砂利層であるかの判定するサンプルリング資料です。



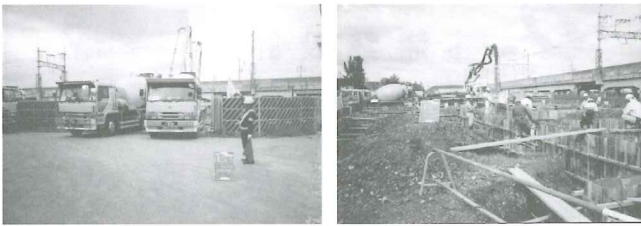


杭打ちが完了したら次は建物の基礎を作るために掘削作業を始めます。根伐が完了するとステコンを打設します。墨出しをしていよいよ基礎・地中梁の配筋作業が始まります。鉄筋は、最大長さに限界がある為、継いで(圧接して)長くしていきます。

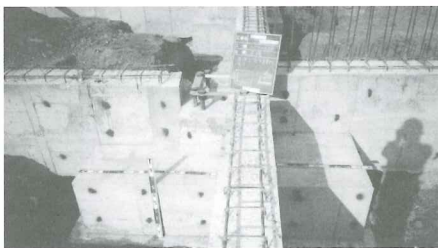
下の写真は基礎の鉄筋組立が90%完了状況。中央にある四角囲ってあるボルトの一群が鉄骨柱を固定するものです。(ベースパック)この状態で一度鉄筋の配筋検査を行い型枠工事(コンクリートを流し込む枠)に進みます。



基礎コンクリート打ち。ポンプ車1台に生コン車が2台。近隣のH小学校のPTAより児童優先の通達が来たためガードマンによる誘導をしました。打設状況です。大工さんや鉄筋工、土工、設備工、ポンプ工さんらがみんなで協力しての作業。



コンクリート打ちが終わり2日間の散水養生期間を経て脱枠(コンクリートを充填するための木製の枠を取り外す作業)に。下の写真は脱枠後の基礎、地中梁のコンクリート出来高写真です。



### § 3. 最初の問題(外壁材の検討)

工事が順調に進む中、社長からの伝言です。

外壁材に対する悩み事です。

セントレア空港内での施工中の空港ビルにパッと見て良い感じの外装材を見つけた!材質は何で出来ているのかを調べてくれないか?ゼネコンの友人に問合せ調べた結果、ALC(軽量気泡コンクリート)にタイル目地を描いて色付けした仕上げだと判明した。結果が分かりこの材質では傷が付きやすいと判断され改めて情報収集開始。インターネットの活用、設計事務所の友人から情報、アドバイスをもらい東海3県の建築物を探索に出向きました。

まずは『灯台もと暮らし』の言葉のごとく我が家周辺から探索開始!!有りました!

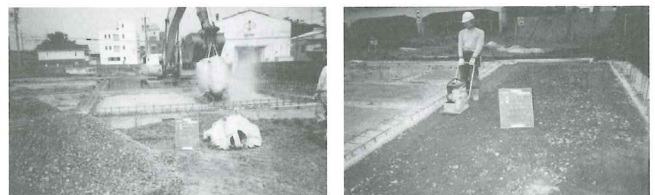
しかし見つけた建物は・鉄筋コンクリート造。改めて別の建物を探索に。見つけました!!これは鉄骨造で有り当てはまる予感!(下写真)



この建物の外壁に近い仕上げ材を探しサンプルを取り寄せて早速実験(傷、汚れのテスト)。傷が付きにくい事と汚れも付きにくく目立たない事の確認を行い社長にその旨を報告。早く発注しないと鉄骨の取合いを作図しないと完成時期に影響が出るので、急いで現状見積書との増減見積書を作成依頼が有りました。

### § 4. 工事の進捗

ようやく外壁材が決定した頃、現場の方では埋戻しが。ここでも問題が発生。掘削土流用の仕様で有ったのですが畑土であり土間下の沈下が予想されるので、地盤改良(袋の中のセメントを重機で攪拌)をしています。次に1F土間下に碎石を敷き転圧。(右下写真)



鉄骨建て方が開始。建物の外観が見えてきます。この後、先が読めない展開に。次号§5につづく

## 静岡部会だより

(株)アイピーエス 積算部  
藤曲 充信

今年度に入り積算する物件が少なく困り果てています。皆さんは如何でしょうか?様々な要因があると思います。民間物件の場合は、消費税導入による前倒し発注、現場監督や職人の不足や資材価格の上昇による先延ばし、大手電気設備業者の談合により2か月程度の営業停止による大型物件の減少、そして不採算物件の取組み回避などによる同一物件の減少などが考えられます。一方、官庁物件に於いては、新規企画並びに改修の設計業務委託や施工物件の工事発注は依然として好調を維持しているようです。従いまして、ゼネコン主体の積算事務所は大変厳しい状況下に置かれている反面、官庁主体の積算事務所は継続的な仕事量を確保できているようです。政府筋の発表では強含みな数値が見られますが、いつ頃に景気は回復するのか、いつ頃まで耐え続けなければいけないのか、経

営者の皆様は思案中と思いますが、秋ごろには多少向上向くようです。積算事務所の皆さん、このような時こそ内部体制を見直し人材育成のための勉強会や資料を整備して、積算の4原則「より安く、より早く、より正確に、機密を守る」を追求する行動を行い、お客様への信頼を確保するためにも、品質の向上を図り大きなミスの発生防止に努めることがもっとも大切かと思えます。私のつぶやきとして聞いて下さい。

さて本題の静岡だよりですが、活動報告が余りなく申し訳ございませんが、学校教育についてお話ししたいと思います。県内では、静岡県立浜松工業高等学校の積算授業を実施していますが、本年度は学校側の担当先生より積算授業のシラバスについてご提案並びにご協力を賜り、積算の実技(40名)と建築積算士補の資格を取得したい人(40名のうち18名のみ)の授業に分けるようにしたことで、授業内容も以前より充実感があり、7/16(水)資格試験日への手応えも感じています。受験者皆さんの合格を心より祈っております。

## 暑中お見舞い申し上げます

IPS

代表取締役

内田 宏 康

株式会社 アイピーエス

本社 〒435-0036 静岡県浜松市渡瀬町1000の3 TEL.053-461-8866 FAX.053-461-8854  
東京営業所 〒133-0056 東京都江戸川区南小岩5-6-14 TEL.03-5694-0636 FAX.03-5694-2415  
IPS E-mail : ips@inh.co.jp

公益社団法人 日本建築積算協会東海北陸支部 教育委員  
一般社団法人 日本建築積算事務所協会東海地域会 会員



株式会社 浦野設計

URNO ARCHITECTS & ENGINEERS



代表取締役社長

浦野 廣 高

技術士(建設部門)

名古屋本社 〒452-0815 名古屋市中区西八筋町90番地  
TEL.052-503-1211 FAX.052-505-2712  
URL <http://www.urano-s.co.jp/>  
E-mail:h-urano@urano-s.co.jp

東京本社 〒113-0033 東京都文京区本郷3-3-12  
TEL.03-3811-9128 FAX.03-3811-9582

再生紙使用



建築・積算・見積

有限会社 エスム積算

(公社)日本建築積算協会会員

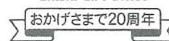
会 長 松 岡 重 幸

本社 〒503-0944  
岐阜県大垣市横曾根4丁目13番地  
TEL <0584> 89-2550・FAX <0584> 89-7841  
E-mail esumu@sannet.ne.jp  
東京事務所 〒105-0014  
東京都港区芝1丁目13番16号・NBC芝橋ビル4階  
TEL <03> 3452-7164



株式会社 縁

一級建築士事務所



名古屋事務所 所長

古川 元

FURUKAWA GEN  
積算士

〒460-0003 名古屋市中区錦2丁目2番22号 名古屋センタービル別館  
TEL 052-218-2062 FAX 052-218-2063  
携帯 080-8370-6474  
E-mail:g-furukawa@enishi-cm.co.jp  
URL : <http://www.enishi-cm.co.jp/>



## 北陸部会だより

(有)高島建築積算事務所  
 所長 高島 義昭

平成 26 年度北陸部会総会が平成 26 年 6 月 8 日(日)金沢勤労福祉プラザにて開催されました。総会には正会員 16 名の出席のもと平成 25 年度活動報告、収支決済及び監査報告の承認、平成 26 年度の活動計画、収支予算案など審議し承認されました。

またこの総会で建築積算士・コスト管理士の試験会場が富山より金沢に変更され石川県金沢市勤労者福祉センターにておこなうことが報告されました。

議事終了後恒例の積算研修会を行い、今年は建築工事内訳書標準書式・同解説書が平成 15 年版より平成 25 年版の改訂に伴う内訳書式の変更などについて講習を行ないました。

総会・積算研修会の修了後金沢駅構内の「西笑」

にて懇親会を催し、新しく入会された会員も和やかに交流が行なわれました。

7 月 5 日(土)北陸部会石川地区の勉強会・交流会がアパホテル金沢駅前店「彩旬」にて 10 名の会員出席のもと開催されました。

この日の議題で建築積算士、コスト管理士試験に向けて試験対策準備講習会を行なうことが議題となり予定として 10 月 26 日試験に向けて 9 月 20 日～毎週 5 回講習会を行なうことが決まりました。(会場:金沢勤労者福祉プラザ)

今後その準備を石川地区会員で行なうことを申し合わせました。

また長年北陸部会で発足以前からご尽力いただいた栗紀夫さんは健康上の理由で仕事をやめられることとなり、会として記念品の授与を行い栗さんの北陸部会での平成 15 年 10 月の創立時を思い起こして労をねぎらいました。

## 暑中お見舞い申し上げます

 **国豊積算株式会社**  
 専務取締役 箱崎一夫

〒460-0012 愛知県名古屋市中区千代田3-14-24 国豊ビル  
 TEL 052-332-0280 FAX 052-332-0945  
 URL <http://www.kunitoyo-sekisan.com>

有限会社 **高島建築積算事務所**

所 長 **高島義昭**  
 一級建築士

〒920-1165 石川県金沢市若松町2丁目9番地2  
 TEL(076)233-1330 FAX(076)233-1340  
 携帯電話 090-3293-6920  
 E-mail:takasima@aqua.ocn.ne.jp

株式会社 **伊谷建築積算事務所**

代表取締役 とき や 智 彦  
 会 長 剛 谷 将 紀  
 代表取締役 剛 谷 将 紀  
 社 長

名古屋本社 〒466-0841 名古屋市昭和区広路本町 6-11-2  
 TEL (052) 859-0686  
 FAX (052) 859-0687  
 静岡事務所 〒413-0102 静岡県熱海市下多賀 45-5  
 TEL (0557) 68-5842  
 FAX (0557) 68-5844

 株式会社 **中野積算**

名古屋支社

支社長 **位 田 勝 彦**

KATSUHIKO INDEN  
 建築コスト管理士 公益社団法人 日本建築積算協会会員

名古屋 〒450-0002 名古屋市中村区名駅五丁目 29-10 錦通Kビル  
 支社 TEL 052(856)6961 FAX 052(856)6960  
 E-mail : k-inden@nakano-sekisan.co.jp  
 本社 〒167-0051 東京都杉並区荻窪 5-13-7 TEL 03(3392)6121  
 支社 大阪・名古屋・仙台・札幌・新潟

## 地域委員会岐阜だよ

代表 生田 孝文

地域委員会の今年度のスケジュールについて

7/15 水曜日に岐阜市茜部菱野三丁目 218

さざん珈琲店で行います。

1. 地域委員会岐阜の年間目標
2. 委員会の構成、役割について
3. 講習会について

4. 地域委員会岐阜の在り方について

5. 会員相互の交流について

6. その他

現在 岐阜の在住会員は 48 名です。

活発な意見を求めます。

## 暑中お見舞い申し上げます

### 株式会社 林 積 算

代表取締役 林 進

〒460-0008 名古屋市中区栄五丁目26番39号 GS栄ビル6階  
TEL 052-262-3781  
FAX 052-262-3783  
E-mail susumu.hayashi@hayashi-sekisan.co.jp



コストエンジニアリング&コンサルタント  
株式会社 二葉積算  
名古屋支社

取締役支社長

中川 英人

NAKAGAWA HIDETO 建築積算士・建築コスト管理士

〒460-0008  
愛知県名古屋市中区栄1-16-6(名古屋三蔵ビル)  
TEL 052-202-4800(代表) FAX 052-202-4802  
E-mail nakagawa@futaba-sekisan.co.jp  
URL http://www.futaba-sekisan.co.jp  
本社/東京 支社/東京・名古屋・大阪・広島・福岡・札幌



### 株式会社 みどり建築企画

(公社)日本建築積算協会東海北陸支部  
副支部長・講習教育委員長・HP委員

代表取締役 藤井 正王  
FUJII MASAO

名古屋市中区栄一丁目7番25号 サン・ミノビル602  
TEL052-231-5822 FAX052-231-5825  
〒460-0008 E-mail:midorikk@mediacat.ne.jp



### 株式会社 棟 MUNE 建築企画

代表取締役 鳥居 哲夫  
取締役 和田 浩嗣  
取締役 中島 達司  
取締役 服部 欽守

〒460-0002 名古屋市中区丸の内2-6-1 日誠丸の内ビル3階  
TEL : 052-602-9525 (代) FAX : 052-602-9526  
E-mail : aqmunecp@mvg.biglobe.ne.jp (代)  
URL : http://www.mune-kenchiku.co.jp

### 株式会社 伊藤建築設計事務所

代表取締役社長 小田 義彦  
取締役 渡邊 國雄

本社・名古屋事務所 名古屋市中区丸の内1-15-15 (桜通ビル)  
東京事務所 東京都千代田区外神田3-5-12 (聖公会神田ビル)  
http://www.ito-aei.co.jp



一般財団法人  
建設物価調査会

Web建設物価  
月刊建設物価

中部支部  
支部長 高橋 俊一  
建築積算士/審査技術者

〒460-0003 名古屋市中区錦3丁目4番6号  
(桜通大津第一生命ビルディング)  
TEL 052-955-5261(代表) FAX 052-955-5264  
E-mail t-takahashi@kensetu-bukka.or.jp  
URL http://www.kensetu-bukka.or.jp/





改訂5版

# 鉄骨の積算入門

◎著/はまだ かんじ・松本 伊三男

定価 本体5,500円(税別)

鉄骨積算の初心者はもちろん、実務者にも必要不可欠な資料や事例  
(モデル建物の計算例と解説)などを掲載!

「建築数量積算基準」の鉄骨について解説し、鉄骨積算用語の解説を新たに掲載!

平成23年版

## 建築数量積算基準・ 同解説

◎編集/(一財)建築コスト管理システム研究所 (公社)日本建築積算協会  
◎発行/(一財)建築コスト管理システム研究所  
定価 本体4,000円(税別)

改定された「JASS5」と整合性を図り、  
積算関係者から寄せられたご意見等を参考に  
解説部分の表現の統一、図表等の修正などを加えた最新版です。

平成25年版

## 公共建築工事 積算基準

◎監修/国土交通省大臣官房官庁営繕部  
◎編集・発行/(一財)建築コスト管理システム研究所  
定価 本体8,286円(税別)

標準単価積算基準の改定、  
参考歩掛りの改定並びに最新通達も収録!  
公共積算関係者必携の書!

平成25年版

## 建築工事内訳書 標準書式・同解説

◎編集/(一財)建築コスト管理システム研究所  
(公社)日本建築積算協会  
◎発行/(一財)建築コスト管理システム研究所  
定価 本体4,600円(税別)

公共建築工事標準仕様書や  
JIS規格等との整合性も見直して解説!

平成24年版

## 公共建築工事内訳書 標準書式【設備工事編】・ 同解説

◎監修/国土交通省大臣官房官庁営繕部  
◎編集・発行/(一財)建築コスト管理システム研究所  
定価 本体4,600円(税別)

平成24年3月に改定された「公共建築工事内訳書  
標準書式(設備工事編)」との整合性を図り、  
記載内容等の見直しを行った最新の解説書!



株式会社 大成出版社

<http://www.taisei-shuppan.co.jp/>

TEL:03-3321-4131 FAX:03-3325-1888  
〒154-0042 東京都世田谷区羽根木1-7-11

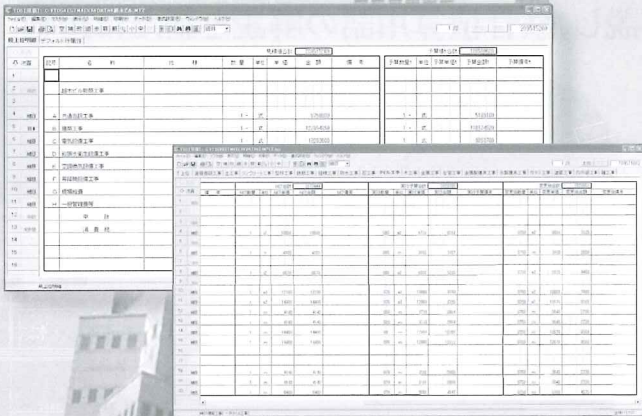


積算業務の効率化に貢献する

# TDS Application Series

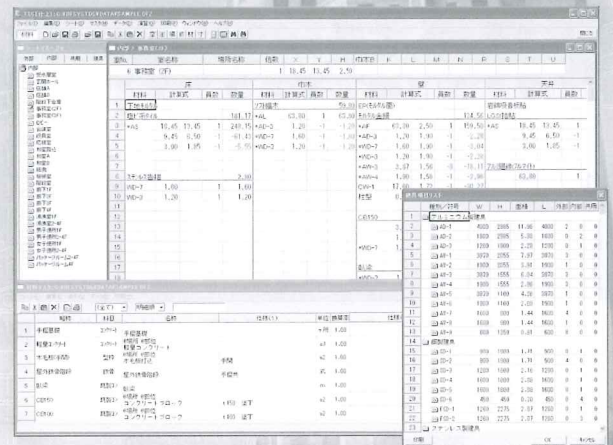
出荷本数8000本の実績!明細書作成の超決定版!

Exa  
TDS [見積]



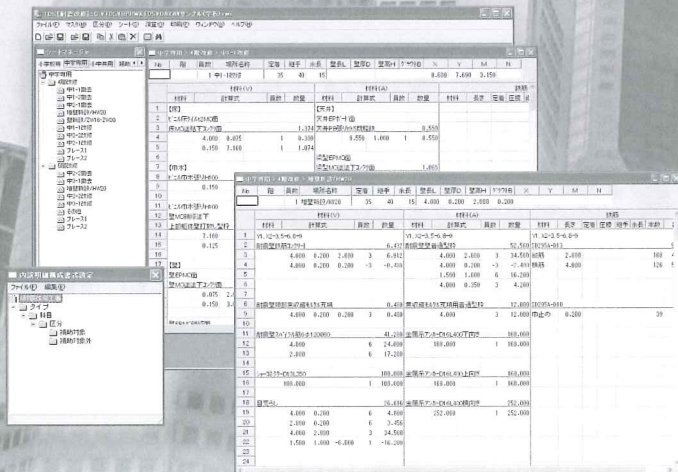
超簡単仕上拾い

TDS [仕上]



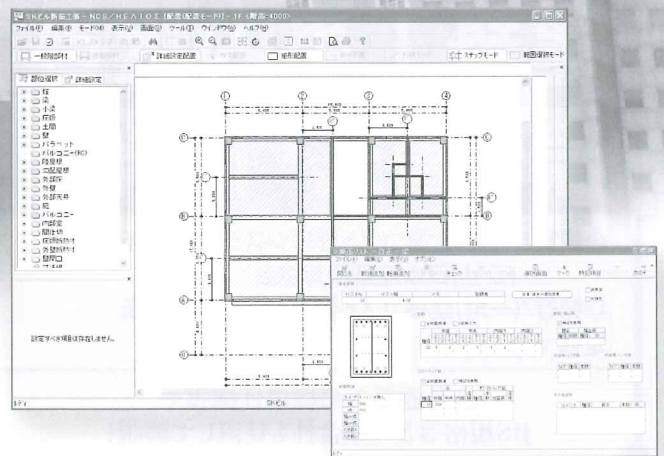
業界初!改修専用の積算システム!

TDS [改修]



どんな建物にも対応

NCS/HELIOS



※NCS/HELIOSは株式会社積日積サーベイ社の商品です。



TOMOデータサービス株式会社

<http://www.tomodata.co.jp> E-mail [info@tomodata.co.jp](mailto:info@tomodata.co.jp)

大阪本社/ 〒531-0041 大阪市北区天神橋7丁目5-23 渋谷ビル TEL(06) 6351-8452 FAX(06) 6351-8925  
東京事務所/ 〒110-0015 東京都台東区東上野3丁目14-7 龍田ビル TEL(03) 5816-7080 FAX(03) 5816-7081

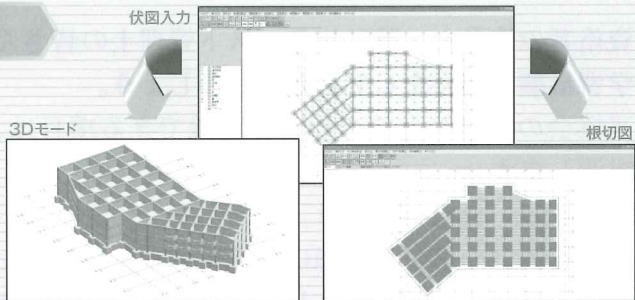


# 建築積算・見積システム

## FKS RC RC数量積算システム

拾い時間の短縮・省力化を追求しCADとのデータ連携も実現

- 伏図配置はワンクリックで簡単配置、偏芯情報は自動補正の機能を搭載
- セットバック(斜め柱)や壁式構造にも対応、鉄筋の定尺集計も可能
- PC工法、ポイド、機械式継手、定着プレート、カットオフ、スリットなど様々な工法に対応
- 土工事は、総掘、壱掘、地下空間体積も自動で積算、杭工事にも対応
- 設計CADデータを積算データへ直接取込(オプション)



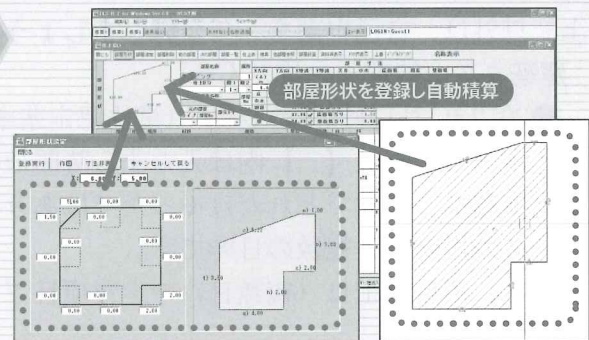
3Dモード  
作図した伏図を3次元へ展開し、立体図を見ながら各部材の編集が可能です。

根切図  
基礎伏図から根切図を自動作成し、土工事数量も算出します。

## FKS FN 仕上数量積算システム

部屋形状自動作図と図面データ取込機能で積算時間を大幅削減

- 部屋形状作図と図面ショット機能により複雑な形状の部屋でも自動積算を実現
- 建具積算も標準で装備し、壁、巾木から面積、長さを自動計算
- 部位別、科目別の集計画面から直接拾いデータの編集が可能
- 設計変更前後の数量差分印刷機能で変更資料作成をサポート
- BIMツール 連携用 中間ファイルの入力機能搭載(公益社団法人 日本建築積算協会 制定 BS-Transfer)
- CI-NET 建築積算メッセージファイルの入出力機能搭載(一般財団法人 建設業振興基金 制定) 建築積算の標準交換データ形式に対応



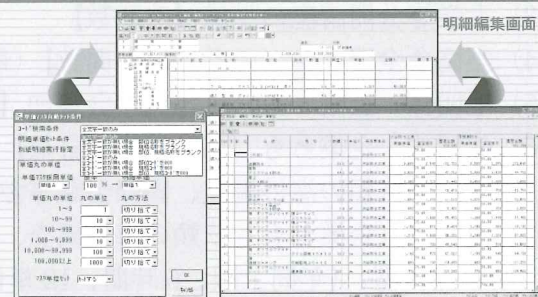
部屋形状作図画面  
9等分されたマスの組み合わせに形状や寸法を入力するだけで部屋形状が自動作成されます。

図面ショット画面(図面データより)  
マウスでクリックするだけで部屋形状が自由に作図できます。

## KYOEI COMPASS 見積書作成システム

優れた操作性と豊富な機能で見積業務が大幅に効率アップ

- 数量、単価、総額固定などの各種シミュレーション機能によりコスト調整を容易に実現
- 名称・規格情報が同じ明細を文字検索し、単価の統一が可能
- 付箋機能により、目印を付けた行をまとめて検索・参照・編集
- ExcelからCOMPASSへ直接コピー・貼付けが可能
- Excelとの入出力機能やRIBCから出力したデータの取込など豊富なデータ互換
- 見積書式の行数や表現、見積鑑の書式位置はユーザーごとに設定が可能



単価自動セット  
単価マスターや過去物件より単価を自動セットします。

業者見積比較画面  
最大5社まで見積比較が可能です。

協栄産業は、蓄積された経験と技術をもとに、貴社に最適な建築コストアプリケーションを提供いたします。

鉄骨数量積算システム **FKS ST**

積算実績比較システム **FKS SJ**

実行予算書作成システム **COMPASS 実行予算**

デジタルインテグレーションシステム **K/FIT**

積算といえば **協栄産業** におまかせください!  
<http://www.kyoei.co.jp/fks>



検索  
「積算 FKS」で検索してください

クリック!



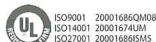
エレクトロニクス分野を通して  
夢とゆとりのある社会の実現に貢献します。

**協栄産業株式会社** ソリューション第二事業部 営業部

Email [fks@kyoei.co.jp](mailto:fks@kyoei.co.jp) URL <http://www.kyoei.co.jp/fks>

【東京】〒143-6565 東京都大田区平和島6-1-1 TRCアネックスビル  
TEL 03-3767-2312 FAX 03-3767-2318

【大阪】〒553-0003 大阪府大阪市福島区福島3-14-24 阪神ダイヤビルディング  
TEL 06-6451-9781 FAX 06-6451-9810



ISO9001 200016860M08  
ISO14001 200016746M1  
ISO27001 200016869M5

協栄産業株式会社 会社概要

【会社名】 協栄産業株式会社 (Kyoei Sangyo Co., Ltd.)  
【本社所在地】 〒150-8585 東京都渋谷区松涛2-20-4  
【創立年月日】 1947(昭和22)年10月6日  
【資本金】 31億6,181万円(2012年3月31日現在)  
【総従業員数】 1,234名(協栄産業グループ合計)  
【株式上市】 東京証券取引所 市場第1部「商業」  
【関連団体】 公益社団法人 日本建築積算協会賛助会員  
一般社団法人 日本建築積算事務所協会賛助会員  
社団法人 日本建築士事務所協会連合会賛助会員  
一般財団法人 建設業振興基金(CI-NET会員)  
一般社団法人 IAI日本会員



## CPD 単位取得について

資格制度委員会

資格者の皆さん・特に建築コスト管理士の皆さんへ

学習形態、内容をCPD登録しましょう。

当協会のCPD登録のための登録できる項目は、どんなものがあるか。気を付ける事はどんな事かを説明します。

A 自動認定・自己申請とは。

積算協会のCPD登録は、資格者の生涯にわたる、技術・知識の向上の過程を、単位認定により記録する事です。認定は、BSIJ-CPDシステムの分類と単位に記述してありますように、学習形態・内容によって、自己申請による単位認定と、自動認定があります。まず、自動認定は、当協会主催の講習会・勉強会・見学会・eラーニングの受講。及び、建築士連合会主催の各種講習会等です。上記以外は、自己申請をして登録しましょう。

B. 建築コスト管理士の皆さんへ

●2012年4月1日以降の登録（単位認定基準が変わっています。）、自己申請をして登録しましょう。

自己申請の内容、【 】内は入力する時間数等、（ ）内は単位数の制限。

自己申請は、年間でどれだけやったではありません。1日で実施した場合は1日ごと、複数日に渡るコースの場合は、複数の日時です。

だから、項目は1日（複数日）の学習項目ごとに、項目が起きます。

### ①. 参加学習型

- 1) 外部プログラムによる講習・研修の参加【時間数】・・・他団体等の自動認定されない講習会。
- 2) 講演会・シンポジウムへの参加【時間数】
- 3) 大学等公開講座の受講【時間数】
- 4) 当協会全国大会への参加【時間数】（最大4時間まで）
- 5) 他団体・企業とも、現場見学会参加【時間数】（実質見学時間のみ）
- 6) 他団体・企業とも、海外視察【日数】（出・帰国日は対象外）
- 7) 官公庁依頼の海外調査、国際会議等参加【日数】
- 8) 他団体（企業とも）依頼の海外調査、国際会議等参加【日数】

### ②. 情報提供型、（年間上限、6時間、12単位のみ）

- 1) 講習会、研修会等の講師【時間数】
- 2) 講演会・シンポジウム等の講師、パネリスト等【時間数】
- 3) 大学、専門学校等の講師【時間数】
- 4) 論文、調査研究報告等の発表【時間数】
- 5) 専門知識・技術を生かした社会貢献【時間数】

### ③. 技術協力型

- 1) 専門誌原稿執筆【2時間、1頁とし、1頁、2単位】
  - 2) 学術論文執筆【2時間、1頁とし、1頁、2単位】
- 下記3項目、委員会活動、（年間上限3項目で、8単位のみ）
- 3) 協会本・支部役員会、委員会等の活動【1回、2時間とし、1回、1単位】
  - 4) 他団体委員会活動【1回、2時間とし、1回、1単位】
  - 5) 協会本部総会・支部総会【1回、2時間とし、1回、3単位】
  - 6) 論文等の審査・査読【1件、2時間とし、1件、1単位】（年間上限、10単位のみ）



## ④. 自己学習型

- 1) 協会会誌「建築と積算」掲載のCPD認定記事による学習【CPD認定記事1件、1時間とし、1単位】(年間上限、10単位のみ)
- 2) その他団体等の会誌・機関紙及び市販の専門雑誌等の講読【記事1件、1時間とし、1単位】(年間上限、4単位のみ)
- 3) 専門図書による自己研【1冊、2時間とし、1単位】(年間上限、12単位のみ)

C. 建築コスト管理士更新に際して、年間必要単位数は、16単位です。

よって、更新時より、過去5年間で、16単位×5年=80単位以上です。

D. 支部での支援サービスについて、

ホームページからの、登録・申請がうまく行かない方、どうすればいいか迷っている方、パソコンが苦手な方、単位が足りない方、困っている方は、早めに支部宛に、気楽に、電話・メール・FAX等でご相談ください。

支部にて、アドバイス・代行入力もあります。

今すぐ登録と単位申請を！

TEL 迷わず支部に連絡を TEL

## 編 集 後 記

あんなに待ち焦がれていたFIFA WORLD CUP ブラジル大会も不完全燃焼のまま終わり、早くも連日の猛暑にうんざりの今日この頃です。

さて実務では、労務者不足、資材不足、またこれらに起因する建設物価高騰の煽りを受け、それぞれのお立場で、日々ご苦労されていることとお察しいたします。

この状態がいつまで続くのかわかりませんが、先が見えない中、解決策を探し求め、さまよい歩いているような気分ではないでしょうか。道に迷わないためにも積算協会に参集し、積算仲間と意見交換をしてみるのも一考かと思います。東海北陸支部はいつも熱気に包まれていますよ！

広報委員 堀田 淳二	長山 充裕
加藤 一也	桑名 利男
後藤 学	高嶋 義昭
松本 利治	

支部報 『東海北陸』 No.61

発行 公益社団法人 日本建築積算協会  
東海北陸支部

名古屋市中区栄町四丁目3-26  
昭和ビル 2階

☎ (052) 264-0661(代)

FAX (052) 264-0662

URL <http://www.bsij-tokaihokuriku.com/>

発行日 2014年8月 吉日



# 新刊

平成26年  
5月発行

## 大規模修繕工事に向け、 管理組合・居住者 必読の1冊!!

まんが



# マンション 大規模修繕

大規模修繕がなぜ必要か？  
長期修繕計画や修繕積立金はどうか決まるのか？  
コンサルタントや施工会社はどうか探すのか？  
工事費用はいくら掛かるのか？  
これだけはやっちゃダメ!!  
などをマンガで分かりやすく解説

約200ページ | AB判

定価 本体2,500円+税

内容  
見本

目次

PART 1

修繕積立金が足りない!?

PART 2

大規模修繕って何から始めるの?

PART 3

施工会社はどうか探すの?

PART 4

いよいよ工事が始まった!!



私、修繕委員長に  
立候補するわ!!

建築や修繕の素人だが、  
住民たちが立ち上がった!!

一般財団法人 建設物価調査会

電話での  
お問い合わせ

0120-978-599

パソコンから  
お申込み

建設物価 Book Store

検索